

# 大穂学園だより

No. 5

令和3年10月29日

朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じるようになってきました。学習に、運動にと、様々な場面で実り多い時期を迎えています。新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちは昨年に引き続き、何かと制約のある状況の中で学校生活を送っております。そのような中、各学校の行事等の様子から、少しずつ日常を取り戻してきたように感じます。今後もいろいろな行事が計画されています。実りの多い2学期となるよう、学園で連携して取り組んでまいりますので、保護者や地域の皆様方にもご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



## 大穂学園の小中一貫教育について

今月のおたよりでは、大穂学園としての小中一貫教育についてお伝えします。

小中一貫校のモデルには、小・中学校が同一敷地内にある「施設一体型小中一貫校」と、既存の小・中学校の施設をそのまま活用して、小中連携を行う「施設分離型小中一貫校」の2つがあります。

つくば市では、平成24年度から市内全小・中学校53校15学園において、小中一貫教育を開始しました。大穂学園は、大曾根小学校、前野小学校、要小学校、吉沼小学校、大穂中学校の5学校で構成される「施設分離型小中一貫校」となっており、現在に至っています。

今年度、大穂学園としては、

進んで関わり合い、粘り強く努力する児童・生徒の育成

という目標を掲げ、さらに以下の4つの重点目標について、

- 確かな学力を身に付け、考えを伝えあうことのできる児童・生徒を育成する。
- 規範意識を持ち、礼儀正しい心配りのできる児童・生徒を育成する。
- 心身ともに健康で、たくましい児童・生徒を育成する。
- 家庭や地域との連携・協働を強化し、郷土に誇りをもつ児童・生徒を育成する。

学園内の各学校及び学校間で連携を取り、9年間の連続性のある学校運営を進めています。また、子供たちもさることながら、教職員も、学園内交流を通して、子供たちが豊かに成長できるよう一丸となって仕事に取り組んでいます。(裏面参照)

学園で共通目標を設定し、教職員が学園の子供たちに同じように対応することは、前述のように9年間の一貫した教育を積み重ねることが目的です。また、それぞれの学校の特徴やよさがありますが、それらを踏まえつつ、大穂地区に誇りと愛着をもつ子供たちを育てていこうと考え、日々教育活動に取り組んでいます。

しかし、ここ2年間は新型コロナウイルスのために、今まで行ってきた子供たちの交流や教職員の交流・研修ができない状況でしたが、子供たちのために歩みを止めることなく、できる範囲での活動や交流・研修を行ってきました。本来、大穂学園だよりでは、そのような本学園での活動の様子をお伝えするための資料だと考えます。今後は、大穂学園における子供たち活動を中心に、大穂学園子供たちのためにどのような意図で、どのようなことを行っているのかお伝えできるようにしたいと思います。

- 大穂学園の教職員等の取り組みについて  
裏面の「大穂学園要覧」をご覧いただけたと思いますが、それぞれの部会がどのようなことを行っているか、2～3回に分けてご説明いたします。
  - ・学園校長会、教頭部会及び教務主任部会  
月1回定期的ないし1～2ヶ月に1回程度開催し、学園の子供たちの教育内容について情報交換すると共に、学園における行事等の企画・運営について話し合いを行っています。子供たちの生活の様子についての情報交換も行っていきます。
  - ・若手教員部会(初任者、2年次、3年次の教師の研修会)  
近年、学級数や定年退職者の増加により教員数が不足するようになってきました。年々多くの教員を採用することにより、毎年若い世代の教員が増えています。本学園では、授業研修会を通しての指導力向上や交流会、懇親会を通して、本学園の一員として、若い教員同士がお互いを支え合うことができるような取組を行っています。

# 令和3年度 大穂学園要

## 学園目標

進んで関わり合い、粘り強く努力する児童・生徒の育成

## 学園共通重点目標

- 確かな学力を身に付け、考えを伝えあうことのできる児童・生徒を育成する。
- 規範意識を持ち、礼儀正しい心配りのできる児童・生徒を育成する。
- 心身ともに健康で、たくましい児童・生徒を育成する。
- 家庭や地域との連携・協働を強化し、郷土に誇りをもつ児童・生徒を育成する。

## 組織



## 年間計画

月	学園行事	調整・連携	実施・運営の主体	主な内容
4	大穂学園入学式	① ③	各校教務主任	
	大穂学園啓志式	① ③	各校教務主任	
	研究推進委員会(1)	① ③ ④	① ③ ④	学園目標、学園重点目標の確認
5	若手教員部会	④	⑪ 各校研究主任	学級経営-生徒指導-コンプライアンス研修
	各学年代表部会	⑫	⑫ 各学年代表者	
	特別支援教育部会	特別支援コーディネーター	⑥ 特別支援教育担当	個別の指導計画-支援計画の確認
	生徒指導部会		⑤ 各生徒指導主事	
	小学校運動会	④	各校体育主任	中学生による運動会ボランティア
6	合同引き渡し訓練	③	各校保健主事	学園内一斉の引き渡し訓練
	くすのきフォーラム	④	くすのき会	くすのき会との連携による実践
7	学園スポーツフォーラム	④	各校体育主任	大穂中を会場としたスポーツイベント
	研究推進委員会(2)	① ④	① ④	学園行事の確認
8	地域防災会議	③ ⑫	③ くすのき会	災害時の避難所運営
9	中学校体育祭	④	中学校体育主任	各小学校6年生の種目参加
	研究推進委員会(3)	① ③ ④	① ③ ④	研究の進捗状況の確認
10	小学校運動会	④	各校体育主任	中学生による運動会ボランティア
	科学フェスティバル	科学部顧問		
11	学園合唱フォーラム	④ 音楽主任	各校音楽主任	
	くすのき交流会	④ ⑫	くすのき会	小中交流会(大穂中体育館)
12	特別支援学級部会	特別支援コーディネーター	⑥	特別支援学級進学児童の確認
	研究推進委員会(4)	① ④	① ④	本年度の振り返りと成果と課題の洗い出し
1	中学校新入生保護者説明会	④	④	
	若手教員研修	④	⑪ 各校研究主任	研究授業及び研究協議
2	くすのき会絵画展	④	くすのき会	児童生徒の冬休みに作成した絵画を展示
3	研究推進委員会(5)	① ③ ④	① ③ ④	次年度の学園目標の設定
	小学校6学年授業参観	⑤	各校生徒指導主事	配慮を要する児童の確認
	大穂学園誌志式	① ③	各校教務主任	
随時	大穂学園卒業式	① ③	各校教務主任	
	計画訪問時の授業参観	④	各校希望者	
	各学年代表部会	④	⑧	
	各教科部会	④	⑨	
	養護教諭部会	⑦	⑦	

## ○ 青少年を育てる市民の会（大穂支部より）

10月17日(日)大穂交流センターの役員会において、事業計画が話し合われました。毎年、大穂支部から本学園の子供たちに寄贈品(昨年度は、非接触型体温計)をいただいておりますが、今年度は学校用図書(23万円分)をいただけることになりました。この場をお借りし皆様にご報告させていただきます。市民の会の皆様、ありがとうございました。